

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、23～27℃台を示し、平均並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——西彼地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週の4倍（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり13トンの水揚げで、前週の2倍（前年並み）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり2kgの水揚げで、前週の22%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり134kgの水揚げ（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり60kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり3.6トンの水揚げ（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり49kgの水揚げ（前年を上回った）。
- 定置網——五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり3トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり115kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ヤズなどが1日1統当たり136kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり183kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（9/23～9/28の6日間）沖合イカ釣（船凍船）は、大和堆付近で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～兵庫沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖～桧山沖で操業。鳥取県西部（沖合船）入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第4-23号 小トビ（トビウオ未成魚）飛翔目視調査結果【3】」を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>